

認知症作業療法 活動報告（概要）

滋賀県作業療法士会では、認知症アップデート研修、事例検討などの研修による人材育成と、認知症の人と家族会との連携、県士会員への情報発信を**2019**年度計画としていて活動を行っている。

近畿作業療法士連絡協議会では、**OT**協会の主要事業に関する情報共有と近畿都道府県共催の研修会の開催などの事業を実施し、認知症支援チームでも情報共有、研修会の開催を主な事業計画としている。

人材育成（認知症専門研修）事業

2017～2018年度アップデート研修は合計**4**回開催、修了者は述人数**120**名（全会員数**454**名）となった。

2019年度の開催は**12**月に平日夜間の**2**週連続講座（基礎講習のみ）と**2**月に特別講義を盛り込んだ休日開催を計画している。**2**月の研修では認知症の人と家族会との連携を予定している。

今後、事例検討、**GP**のまとめ方などの研修を開催していくことが課題。



認知症の人と家族の会との連携

滋賀県では認知症の人と家族の会主催の認知症カフェが月**2**回開催されており、**OT**士会としては依頼があれば講師派遣などを行っているが、継続した関わりは持っていない。今年度は、認知症の人と家族会主催の電話相談員研修会に一部、認知症推進員の参加を始め、今後**OT**士会として連携できそうな部分であると感じている。

また、今年度認知症アップデート研修の特別講義枠として、認知症の人と家族会の方に講義していただく予定。また、研修当日に「注文を間違えるカフェ」開催を予定している。

近畿連絡協議会 認知症支援チーム

近畿**2**府**4**県での認知症支援にかかる情報共有と、年**1**回セミクロードでの研修会を開催。今年度の研修会は講師の都合つかず、開催はしない方向に決まっている。

2018年度は**12**月に小川先生、長倉先生に協会の目指す認知症作業療法の方向性をお話いただき、各士会の理事にも参加いただき、方向性の共有をした。

市町との連携

2016年度より滋賀県と県内**3**士会設置の地域ケア推進員による、人材育成や認知症支援に限らず、地域ケア会議や介護予防事業等、リハビリテーション専門職の派遣事業が少しずつ整備されている。

認知症初期集中支援チームの動きは市町村により差はあるものの、現状把握しているものだけで、**7**市町／**13**市**6**町で**OT**の参画がある。

今後の展開

- ・ 認知症の人と家族の会との連携
- ・ 市町へのリハビリテーション専門職の関与、ニーズについての把握
- ・ **GP**の集積